

IGF Japan 第3回全体会議 2014年3月14日

日本におけるIPv6の現状と今後

社団法人日本インターネットプロバイダー協会 木村 孝

日本におけるIPv6の普及状況について公開

- IPv6普及・高度化推進協議会のサイトで、2012年12月の状況から公開を始めました。
- 更新は3ヶ月に一度です。
- Webサイト、バックボーンへの対応状況、アクセス網における普及状況の3種類の指標です。
- <http://v6pc.jp/jp/spread/ipv6spread2013.phtml>

こんな感じですよ。まだ、低い状況です。

NTT東西、
フレッツ光
ネクスト

NGN IPv6普及率

2012.12	0.8%
2013.03	1.4%
2013.06	2.0%
2013.09	2.5%
2013.12	2.7%

NGN契約数

8,127,000
8,595,000
9,094,000
9,506,000
10,741,000

KDDI au ひかり

2012.12	55%
2013.03	61%
2013.06	63%
2013.09	65%
2013.12	66%

ctcコミュファ光

24%
29%
36%
40%
44%

しかし2014年はこの数値が急増する予定です。

その1. PPPoE事業者の状況

- NTT東日本、西日本が「ひかり電話ルーターのIPv6によるインターネット（IPv6 PPPoE）接続への対応」を発表（2014年3月4日、2月28日）
- 機種により、3月下旬以降と、9月以降に分けて順次対応
- 従来IPv6 PPPoEで必要だった、IPv6トンネル対応アダプタが不要に
- 対応予定ISPは、TOKAI、IIJ、hi-ho、OCN、So-net、ぷらら
- これらのISPはFTTHの市場で合計で50%以上のシェアを有していると推定される。*
- ひかり電話ルーターの普及比率は約69%と推定される。**

*MM総研 2013.11.27発表 ブロードバンド回線事業者の加入件数調査から推計

** NTT東日本平成25年度上半期サービス概況等から推計（法人向けタイプを除くひかり電話契約数とFTTH契約数の割合から

続き

その2. IPoE事業者の状況

- 日本ネットワークイネイブラーは「v6プラス」を発表（2013年4月18日）
- BIGLOBEとniftyは、デフォルトで新規利用者に対し無料で提供開始*
- ソフトバンクBBは、すでに2012年8月より新規ユーザーに無料で提供中

その3. Bフレッツからフレッツ光ネクスト (NGN)への移行 (NTT東日本)

- 1月24日発表
- NTT東西のFTTHにおけるNGNの比率は2013年3月時点ですでに約52%に達している。 **

今後の課題

1. サービス、コンテンツの対応

- 日本の大手サービス、コンテンツ事業者がIPv6に対応しないと普及しない。

2. モバイル事業者の対応

- NTTドコモが2011年6月より、mopera Uの契約者に対してIPv6インターネット接続を提供
- KDDIも、2012年11月より、LTE NET for DATAの契約者に対して、IPv6インターネット接続を提供
- 利用者は0.1%以下とごく少数にとどまる。